



教育

おおらか・さわやか・きわやかな大崎の教育

問 教育委員会管理課 ☎476-1111(401)

◆町立小・中学校の土曜授業について

平成 27 年 4 月から、県内の各市町村立学校において土曜授業が始まります。本町におきましても、平成 27 年 10 月から月 1 回、年 5 回（平成 28 年度からは 10 回）の土曜授業を実施し、児童生徒の学力向上や健全育成に取り組んでまいります。

【実施目的】

- 学習指導要領の趣旨や大崎町総合計画の基本方向および、子どもの土曜日の過ごし方の現状や子どもたちを取り巻く地理的・社会的環境の状況を踏まえ、土曜日に、学校、家庭、地域が連携し、子どもたちの生きる力をよりよく育むために、豊かな教育環境を提供します。
- 学校週 5 日制の趣旨を踏まえつつ、学校応援団などの組織を効果的に活用するなど地域との交流を図り、開かれた学校づくりをより一層推進するとともに、実施内容や実施方法を創意工夫し、小中連携教育の充実を図ります。

【実施方法】

- ア 土曜授業の実施内容は、各学校が児童生徒の発達段階や学力向上、生徒指導の充実など自校の教育課題を踏まえ、土曜日に実施することの利点を生かした教育活動を創意工夫して編成します。
- イ 土曜授業の実施は、原則、月 1 回（原則として第 2 土曜日）とし、午前中 3 時間の授業を実施します。（給食はありません）
- ウ 土曜授業は『授業日』になります。家庭の都合や習い事、所属している団体の行事に参加する場合は欠席となります。
- エ 子どもたちの『振替休業日』は設けません。

まびの窓おしえの庭

子育て応援団

NO.28 大崎小学校評議員 萩原 洋一

大阪大学大学院教授の志水宏吉氏（教育学博士）が、昭和と平成に実施された全国学力テストの結果を分析している。それによると『学力の差は、かつては【都鄙格差】^{とひかくさ}に由来した。端的言えば、都会の子の学力は田舎の子よりも高く、都市の経済・文化的水準の高さが密接に関連していた。一方、平成のテスト結果からは、【子どもと家庭や近隣社会、学校とのつながりが豊かな地域では、概して学力が高い】との仮説が浮かび上がった』と。

平成の全国調査の結果は、秋田県がトップで次が福井県、そして富山県と続いていた。『秋田のような、つながりが維持されている地域の子どもの学力水準は高い』という。格差克服の手だてとして、氏は地域あげでの『つながりの再構築』を提唱する。

『みんなで子育てを応援していけるような環境作りを』と考えていたので、大変興味深い内容だった。少子化が進む今、大切な宝である子どもたちを育てていくには、学校と家庭だけでは限界がある。『人のつながり』への視点が欠かせない。それが時代の共通認識であろう。我が家の近辺で、子育て中の親に声をかける。悩みがあれば聞いてあげる。近所の子どもたちと挨拶を交わし励ましていく。先生方の苦勞をねぎらい、安心と希望を抱いて教壇に立てるよう称えていくなど。やさしい社会を築くための声の応援はいくらでもできる。

子育て世代に温かい応援を！まずは自らが実践していきたい。

※【都鄙】^{とひ}・・・都会と田舎の意味。